

鹿児島県立 川内高校 P T A 新聞

第 68 号

編集
鹿児島県立川内高等学校発行
PTA 文化部
鹿児島県薩摩川内市
御陵下町 6 番 3 号
電話 (23) 7274

『初心』



PTA 会長 宮 司 信 吾

A 会長を引き続き務めさせて頂くこととなり、昨年にも増して職責の重さを実感しております。

昨年度は、国公立大学現役合格百四十一名、私立大学合格百六十九名、部活動においても進学校でありながら全国大会・九州大会出場など「文武両道」という校風のもと、厳しい現状に應ずることなく、子供たちは志を高く持ちながら学業と部活動において

輝かしい成績や実績を残し、正に川内高校ここにありという存在感を示しました。子供たちの無限の可能性を信じ、子供たちの自己目標の実現に向けて存分に力を発揮できるよう「PTA は子供たちと先生方の応援団」という思いを継続しながら、新役員と心を合わせ精一杯頑張りますので、PTA 会員皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い致します。

い様々な学校行事が行われました。子供たちにはこの「絆」を忘れることなく、自信と誇りを胸に悔いの無い高校生活を送ってもらいたいと思います。

『初心』忘るべからず」ということわざがあります。川内高校に入学し初めて学校に登校した日、授業を初めて受けた日、部活動に初めて参加した日など、『初心』の思いという何らかの緊張感を味わわない人は私自身ですが、まずいらないと思いません。一日一日を無気力に過ごし、目標を見失ってしまうことが多々見受けられます。日々の生活に慣れるように努力し順応することはもちろん大事ですが、感動や感情を忘れると自分自身が進歩できません。本年度も三ヶ月が過ぎ、慣れた学校生活に流されることのないように子供たちと日々向き合い、子供たちの表情や態度の変化を見逃すことのない

いように、ここでもう一度心を引き締めて頂ければと思います。自らを自らで守らなければならない競争社会の中で、悩みながらも仲間（友達）と助け合い、励まし合いながら、一人ひとりの「夢」への階段を一段ずつ登る子供たちが、今望んでいることを親としてどう理解していくのかを PTA 活動を通じてあらゆる情報を共有しながら、子供たちと共に大切な夢を抱いていきましょう。

私たち保護者も、川内高校の諸先生方とコミュニケーションや連携をとりながら協力し合い、PTA 本来の目的である子供たちのより良い成長の場を創り上げていくという『初心』を忘れることなく、子供たちが充実した楽しい高校生活が過ごせるような環境づくりを整えることはもちろん、子供たちのために明るい未来を約束できる PTA 活動を積極的に進めてまいりましょう。

「文武両道」より質の高い

高校教育をめざして」

校長 田 島 洋 輝



四月に赴任して、毎日様々な行事が目白押しの中で、早三月（みつき）が過ぎようとしています。着任してまず感じますことは、「自立・敬愛・剛健」の校訓のもと「文武両

道」を校風として、生徒諸君が、勉学はもちろん、部活動や学校行事などに生き生きと取り組んでいる姿をよく見かけるといふことです。先日、県の高校総体がすべて終わりました。男子バスケットボールの決勝リーグでは三年生が学年応援をし、ムードを盛り上げてくれました。川内高校はまさしく、名実ともに文武両道の学校であることを感じていきます。国公立大学合格率では県内五本の指に入り、また、県の高校総体等で入賞し夏の全国

大会に出場する部は五本の指では足りない。文・武を合わせると、県内トップクラスになります。

なぜこのように素晴らしい実績をあげられるのか考察し、その理由を三点あげてみますと、まず、教育環境がいいこととあります。普通科の高校では県内で最大規模。人的・物的に揃っており、地区の中心校として優秀な職員が熱心に指導しており、そして、完成度の高い進路指導システムの結果として、高校入学後の生徒の伸び率は県内でもトップクラスになっています。

二点目は、生徒諸君の高い理想・志とそれに向けたたゆまぬ努力、そして教職員の情熱あふれる指導の中で、「文武両道」の実践が営まれていることです。

三点目は、熱心な保護者、母校愛にあふれる可愛山同窓会及び O B の方々、そして地域の皆様の御協力と期待の中で、色々な方々に物心両面に渡って多大の御支援をいただいているということとあります。

全国的には、高校教育の質の低下が教育課題の一つになっていますが、本校は「質の高い教育（授業・部活動・学校行事とも）」を提供し、その中で、生徒一人一人を大切に生徒の可能性を最大限に伸ばす教育の実践に努めています。先日、三年生も参加しての文化祭も盛会裡に終了し、その直後、受験モードへの切り替えを目的に三学年集会「決起集会」を開催しました。三学年主任は、生徒たちに

檄を飛ばした後、長渕剛の「気張いやんせ」の歌の一部「気張れ気張れ 気張れ やんせ、一度どまけ 死ん限い 気張れ やんせ」を熱唱し、生徒たちから拍手が生まれました。「子供は、親と教師の愛情で生き、愛情で育つ」という言葉があります。「気張る」「エネルギーの要素は色々あるでしょうが、この愛情をとおして、「気張る」「エネルギー」が最大限に湧き出てくると思います。

今後とも、厳しさの中にも愛情あふれる知・徳・体のバランスに配慮した「質の高い教育」を提供しつつ、生徒の個性と能力を最大限に伸ばす教育を、皆様方の御支援のもと全教職員一丸となつて進めていきたいと思ひます。

平成 24 年度
…… P T A 役員・各部の活動内容
部長・学年委員長の一言

総務部 部長 P T A 会長／副部長 副会長

●各部活動の連絡調整 ●会計に関すること
●その他の部に属さない事項

会 長	宮司 信吾	37 H	監 事	谷口 真毅	31 H
副会長	田中 康代	32 H	〃	田中 英人	22 H
〃	西原 安子	24 H	〃	植村 論	教務
〃	南 輝雄	28 H			
〃	今村 淳一	16 H			
〃	藤崎 恭一	教頭			

本年度も引き続き P T A 副会長を務めさせて頂くことになりました田中です。

総務部は各部の連絡調整等が主な活動ですが、毎年、部長さんを中心となって各部で責任を持って活動して頂き大変助かっています。また、P T A 係の先生方が綿密に準備を下さることで、年間を通しての活動がとてもスムーズに行われているのだと思います。

我が家は、長女・長男、二女と通算七年間川内高校にお世話になってきましたが、二女も高三となり、いよいよ最後の年となりました。

今年度も会員の皆様方のご協力で活気ある P T A 活動ができますよう、宜しくお願い致します。

厚生部 部長 吉永真由美 (37 H)／副部長 長吉典子 (23 H)

●学校行事への積極的協力 ●生徒・会員の厚生面の充実



厚生部では、学校行事(文化祭・体育祭・強歩大会など)への参加や協力、学校保健委員会への参加を保護者の方々へ呼びかけて、積極的に活動していきたいと思っています。

六月の文化祭では、子供達の生き生きとした姿を見ることができ、感動でした。

子供達が楽しく学校生活を送るために、今できることを保護者の方々と力を合わせて活動し、人と人との関わりを大切に、皆様とのつながりが広がることを楽しみに頑張っていきたいと思っています。

一年間よろしくおねがいします。

文化部 部長 土器手雅子 (38 H)／副部長 福山尚子 (35 H)

●研修視察の実施 ●広報活動
●教育の諸問題に関する研究調査



本年度、文化部長を務めさせて頂きました土器手です。一年生と三年生に息子がおります。厚生部委員をさせて頂いたことがあり、強歩大会のお手伝いをしたことがあります。P T A 活動をしていて本当によかったと思うのは、それまで顔見知りではなかった、たくさんの方とお話しする機会がもてたことです。

文化部は初めてですが、これまで「P T A 新聞」を楽しみにしていましたので、今度は自分が発信していく側として、おもしろくて、ためになる新聞ができればいいと考えています。

副部長の福山さんをはじめ、部員の皆さんと和気あいあいと楽しく進めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。

生活指導部 部長 三角文孝 (26 H)／副部長 久永文子 (26 H)

●生徒の校外生活の指導及び朝の街頭指導 ●基本的な生活態度の育成 ●あいさつの励行 ●交通安全指導に重点的に取り組むとともに声掛けも行う ●地区 P T A への協力(全地区開催を目指す)



本年度、生活指導部部長を務めさせて頂きました三角です。どうぞ、一年間宜しくお願い致します。

長年、日本経済は厳しい時代が続いており、エネルギー政策の見直しや、企業の海外流出・少子高齢化などが益々進行し、子供たちが社会人となる時代も決して大幅な経済成長が望めない状況となりそうです。そのような時代を生きて行く子供たちにとって大事な高校生活。友をつくり、勉強・部活動に一生懸命取り組み、規律正しい生活を送ることが重要と考えます。「文武両道」を掲げる川内高校で、子供たちが充実した三年間の学校生活を送れるように、微力ではありますがお役に立てばと思っております。

そこで生活指導部では、右にあります内容で活動し、行動して参ります。

副部長の久永様(26 H)はじめ部員の皆様と一緒に活動して参りますので、是非ご協力の程、宜しくお願い致します。

一学年委員長 森山勝男 (16 H)



今年度、第一学年委員長を務めることになりました、森山です。よろしくお願ひします。さて、一学年の努力目標は、どれも一年生のうちに定着させたいものばかりです。私が

特に大事にしたいのが、健全な精神・肉体の育成です。高校は精神や肉体が大きく成長する時期と考えます。この大切な人間形成の時期を、川内高校での教育や体験を通して実り多きものとして欲しい。加えて入学式で先生方の話にも出た、人間としての総合的な魅力、「人間力」を高めてもらいたいと思います。我々保護者が、子供の能力と意欲を信じ、引き出す助けとなれば、将来飛び込んでいく社会の荒波にも打ち勝っていけるものと信じています。

Go For it! 川高生!

二学年委員長 桑原重隆 (26 H)



この度、第二学年委員長を務めさせて頂きました桑原です。宜しくお願ひします。

今年度の学年努力目標は、昨年度と同様、実現のために学習・生活の両面にわたって充実させる。そして、五項目の目標を掲げてあります。どれも二年生にとっては重要な目標だと思います。

夏休みには、オープンキャンパスがあります。進路決定に向けての参考になると思います。親子で充分話し合ってください。

二期期には、修学旅行が実施されますが、全員が参加出来るよう、健康管理には気を付けて頂きたいと思っています。

二年生は中堅学年です。色んな面で頑張る、一年生の模範になってもらいたいです。川内高校は「文武両道」をモットーに、ほとんどの生徒が部活動に励んでいます。どちらも挫けずに頑張つて、一年生の手本となつてください。

これからも、子供たちが充実した学校生活を送るために、保護者の皆様のご協力よろしくお願ひ致します。

三学年委員長 迫田陽一 (35 H)



この度、第三学年の委員長をさせて頂きました迫田です。数多くの先輩方がいらつしやる中でこのような大役を引き受けてしま大変恐縮しております。文武両道を校風に掲げている川内高校ですが、娘の所属していたバレー部の子供達を通して、この校風を肌で感じる事ができ、部活に取り組む先生方や子供達に頼もしさを感じることができました。大半の子供達は部活動を引退し、自分の進路を決めその夢の実現のため努力する時期となりました。そのような大事な時期の学年委員長としては大変役不足とは思っておりますが、皆様方のご協力を頂きながら、子供達が晴れて卒業できるよう頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひします。

第56回 九州地区高等学校PTA連合会大会

～ふかめんね絆ふくおか大会 2012 in Kokura～

期日 平成 24 年 6 月 21 日 (木)・22 日 (金)

会場 第 1 日目 リーガロイヤルホテル小倉／第 2 日目 西日本総合展示場新館・リーガロイヤルホテル小倉

メインテーマ

「つなげよう心と心、深めよう人と人との結びつき」

分科会テーマ

第 1 分科会：青少年の健全育成と P T A 活動
第 3 分科会：地域コミュニティと P T A 活動

第 2 分科会：進路指導と P T A 活動



九高 P 連大会に参加して

副会長 西原 安子

第五十六回九州地区高等学校 P T A 連合会大会が福岡県北九州市小倉において六月二十一日から二日間開催されました。初日は鹿児島県の高専学校の情報交換会が、二日目は分科会と全体会が行われました。

今年度のテーマは「つなげよう心と心、深めよう人と人との結びつき」三月十一日東日本大震災。昨年のこの時を機に「世のため人のために生きたい。人の役に立つこと、人に感謝されることが、自らの喜びになる」など子供達の声が上がった事は、とてもすばらしいと思います。しかし、中には一人一人が孤立して自己のことを中心に考え、社会全体に対しての責任を果たすという気概が希薄になっているのも今の現状だと話されていました。私達保護者は、その様な風潮を省みて全ての子供達を支え、大切にする事が出来る良質な成長環境を保障し、そして今を生き抜き、未来に羽ばたく子供達が活気に溢れ、夢や希望を語り合い、将来を展望出来る社会をつくらなければならない。だからこそ、社会の中で周りの人達と協働する事で「絆」を創り出すという気運を今こそ高めたいという趣旨の下、私は三つの分科会の中から「青少年の健全育成と P T A 活動」をテーマとした第一分科会に参加し、四校の学校の P T A 活動実践報告を伺いました。

それぞれの学校に共通する取り組みは、学校・保護者・地域が丸となって P T A 活動の活性化を図る為に取り組んでいる事。出来るだけ学校行事に保護者が積極的に参加する様に声かけしている様子が伺えました。私も本校の学校行事に一人でも多くの方が学校へ足を運んで頂ける様な P T A 活動にしていけたらと改めて思いました。

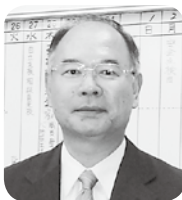
今回、こういう機会を与えて頂けて、貴重な二日間を過ごす事が出来ましたことに感謝致します。

新任者紹介

今年度は、新しく 10 名の先生方が本校に赴任されました。川内高校のさらなる発展のために尽力して下さる、意欲にあふれた先生方です。どうぞよろしくお願い致します！

校長
田島 洋輝 先生

川内高校のさらなる発展のために尽力します。どうぞよろしくお願いします。

教頭
飯伏 良広 先生

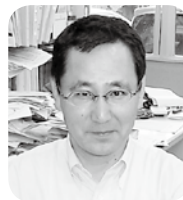
一途に、一心に川内高校を盛り上げられるよう努力していきます。よろしくお願いします。

地歴公民科(15H担任)
石神 純子 先生

よろしくお願いします。川内高校生のあいさつの良さに感激しています。すばらしい…

地歴公民科(27H担任)
切通 良一 先生

学業・部活動ともに一緒にがんばりましょう。よろしくお願いします。

数学科 26H担任
鳩宿 克己 先生

川内高校で皆さんと出会えたことに感謝しています。共に精一杯頑張り、夢を実現させましょう。

数学科(13H担任)
川原 学 先生

川高生のみなさんの力になれるよう全力で頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

数学科(14H副担任)
中村 亨 先生

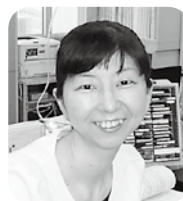
川高生のみなさん、一緒に頑張りましょう。

保健体育科(18H副担任)
有馬 広勝 先生

新たな出会いを大切に「脱メタボ」で日々努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。

英語科 28H担任
伊地知 真 先生

川高で教鞭を執れることを誇りに思います。生徒のためがんばります。

事務
逆瀬川 知美 先生

よろしくお願い致します。

男子ソフトテニス部



私たち男子ソフトテニス部は、三年生が引退した後、二年生七名、一年生五名の十二名で活動しています。先輩方が引退したため人数がだいぶ少なくなりましたが、部員一人一人が声を出して活気のある部になるよう練習に取り組んでいます。

しかし、新チームとなつてまだ日が浅く、まだまだまとまっていない部分も多いです。自分たちが部を引っ張っていく立場になつて、改めて先輩方の素晴らしさを痛感しています。もうすぐ、本格的に試合に出場することになるので、キャプテン・副キャプテンを中心に、試合で結果を残せるようがんばっていききたいです。

練習は、顧問の小島先生や寺尾先生、外部コーチの御指導のもと、ほぼ毎日取り組んでいます。人数が少なくなったので、一人一人の練習できる量が格段に増え、とても充実した練習ができています。

という間に二ヶ月が経ち、先日の高校総体では三回戦で優勝校の鹿児島女子高校に完敗でした。しかし、三年生の部員たちはよき先輩として最後まで頑張る姿を見せてくれました。現在は新チームが始動し、二年生六名と一年生十六名で大会へ向けて練習を開始しています。最近では県内のチームが全国大会でも好成績をあげており、全日本で活躍する鹿児島県出身の選手もいて、女子バレーボールが注目を浴びているのも嬉しく、また励みになります。

私が部活動を指導するにあたって心がけていることは「凡事徹底」です。目標に向かって努力することは当然ですが、普段の生活行動が当たり前にできていなければプレーが雑になり、いざというときに力を発揮することは困難です。当たり前のことが当たり前にできる集団であることを一番大事に考えています。挨拶や礼儀を学び、支えてくれている人に対し感謝の心を表すことのできる人へとバレーボールを通して成長して欲しいと思います。

川高女子バレーボール部に入部してくる生徒は、バレーボールが大好きな子たちばかりです。けれども初めは意欲を持っていなくても、技術的な壁にぶつかったり、勉強との両立に悩んだりする時もあるでしょう。私は、そんな時が、自分に自信をつける絶好の機会だろうと思います。私の考える「自信」とは自分を信じる力を養うことです。最初から持ち合わせている人なんて一人もいません。高校三年間を通じて、苦しい練習を耐え抜いた先に、何かができるようになる喜びを数多く



文芸部員は、みんな未熟ながらも精一杯創作活動に打ち込んでいます。時には、自分の作品の出来に納得がいかなかったり、思いどおりにいかないこともありま

す。しかし、そんな時に部誌を手にとつて読んでくださった方から「面白かった」「すごいね」などの感想をいただくことができるととても嬉しく思います。「次も楽しみにしてる」という言葉が励みになり、頑張ろうという意欲がきたてられることもあります。

私たち文芸部は、楽しんでくださる方々がいてこそ成り立つ部活

両道

濱崎志帆書
ワンを目指す
ワンを輝き

私たち野球部は、三年生十一名、二年生二十名、一年生十九名で、「甲子園優勝」をチームの目標に掲げ日々の練習に励んでいます。短い練習時間の中でどうやって勝つか、それは、一つ一つの練習に質の高さを求め、自分たちで教え合うことだと思い、毎日それを意識しています。しかし、それだけでは不可能なのも事実です。私はそれを補うのは先輩たちの姿だと思います。確かに今までの先輩方が最後の大会で見せたのは悔し涙でした。だけど、その裏には、勝利への思いや仲間への思いがあります。そのような先輩の背中を見てきたからこそ、私たち後輩が一步一步前進し強くなれるのだと思います。

私が新チームの主将になったとき、正直不安でした。特別うまいわけでもなく、発言力があるわけでもありません。そんな私に何ができるのか。とても不安でした。でも、そんなときに救ってくれたのが同じ三年生です。私の代わりに厳しい言葉を言ったり、後輩に教えたりしてくれています。確かに今までの主将とは違うかもしれませんが。でも気持ちでは負けていないと思います。思ったことをうまく言葉にできませんし、人より下手ですが誰よりも気持ちを態度や行動で強く仲間伝えていきます。三年生は少ないですが、より大きな背中を後輩に見せられるようチームを引っ張っています。

私たちが今こうやって野球ができていのも家族や地域の方々、指導者の方々、先生方のおかげだと思つています。そのような方々の期待に応え、恩返しができるよう最後の大会は全員で優勝を勝ち取りたいと思います。また、後輩



短い時間で出し切るのとはとても大変なことです。そのため私たちは常に試合をイメージしながら練習に打ち込みます。

漕艇部に入ると、必ず粘る力や強い精神力が身に付きます。それだけきつい運動だからです。また、生徒だけでなくどの練習をこなすので、自分に厳しくもなります。とうとう始まる次の代のみんなも死ぬ気で漕ぎ続けてくれると思うので、これからも漕艇部の応援の方もよろしく願います。

サッカー部

(三年生保護者)

五月二十日、高校総体県予選三回戦。終了のホイッスルが鳴ると選手たちはがっくりと肩を落としベンチへと帰った。三年生は号泣で座つたまま立ち上がろうとしな



女子バレーボール部

(顧問 有馬広勝)

高校で女子バレーボール部の指導に携わる機会をいただき、気がつくともう十九年目に入りました。川内高校に赴任してあっ

もうすぐ夏休みに入り、練習時間も多く確保できるようにあります。三日間の強化合宿も計画しているので、部員みんながレベルアップできるように、普段以上に一日一日の練習に全力で取り組みたいです。

三年生の先輩方が、五月の地区総体で団体戦優勝、個人戦準優勝という素晴らしい成績を残してくれたので、その勢いに乗って、秋の新人戦では上位を狙えるようがんばっていききたいと思います。

そして、このような環境で練習できるのは、先生方や保護者の方など、周りの方々のおかげなので、感謝の気持ちを忘れずに活動していききたいと思います。

文芸部

経験することで少しずつ養われ、身に付いてくるものだと考えています。だからこそ、部活動をやり遂げて卒業し、自信を付けて社会へ飛び出していつて欲しいのです。私の五歳になる長女も大きくなったらバレーボールをしたいと言っています。将来長女にも自信を養うための部活動をと、私が自信を持って勧められるように、部員たちと一緒に成長していきたいと願っています。

私たち文芸部は、三年生が引退した今、二年生六人、一年生一人の計七人で活動しています。部員同士の仲が良く、笑顔の絶えない部活であるということが自慢です。しかし、現在の一年生の部員数が少なく、常に新入部員を募集している状態です。

文芸部は、本を読むことが好きな人や絵を描くことが好きな人に向いている部活です。必ずしも技術がなければいけない訳ではなく、創作に関しては0からのスタートという人でも楽しんで活動できます。

主な活動は年に四回、自分たちが書き上げた作品を集め、製本し、部誌をつくることです。自分の思ったことや考えたことを自分の言葉で、しかも読んでくださっている方にも分かりやすく表現するというのは難しいと感じることもあります。しかし一方では、大きな楽しみでもあります。各部員はそれぞれ試行錯誤を繰り返しながら、よりよいものを創りあげていくと日々頑張っています。



野球部

だと思っています。対外試合で良い成績をあげるといったことはあまり縁がありませんが、読んでくださる方々にほんのひとときでも楽しさが届けられるように、常に読みのことを考えながら作品を創るということを忘れずに、これからも部活動に取り組みでいきます。



漕艇部

たちに多くのものが残せるよう堂々と最後の大会に臨みます。

私たち漕艇部は、三年生が引退した今、男子は一年生十名、二年生四名、女子は二年生二名と、国体へ向けて練習する三年生二名で活動しています。先日行われた九州大会をもつて三年生十一名が引退しました。また、今年是一年生女子が一名も入部しなかったの、とても不安になりました。しかし、男子が十名入部したので安心していきます。ボートは五人乗りの舵手付きクォドルプル、二人で漕ぐダブルスカル、一人で漕ぐシングルスカルの三種目があります。残った一、二年生の数からすると、全種目編成することができると、今後の彼らの活躍が楽しみです。

昨夏は、男子ダブルスカルが九州大会、全国大会に出場し、女子クォドルプル、女子ダブルスカルも九州大会に出場しました。今年は男女共にクォドルプル、そして女子ダブルスカルが九州大会で準決勝まで進出できました。女子ダブルスカルは八月に新潟で開催される全国大会にも出場します。全国大会でも、ひとつでも上に進出できるように頑張つてほしいです。

ボートについて知っている人は少ないと思います。どのように漕ぐかなど、ほとんどの人が考えたこともないと思います。ボートは全身運動で、「漕ぐ」という動作を常に繰り返して船を進める競技です。試合だけを見れば、千mを約三、四分の間で、百二十本ほど漕ぐのですが、二年半の努力をその



ていた保護者も思わずもらい泣きでも、こんなに泣けるだけ一生懸命になれるものがありこの子たちは幸せだと思う。

勉強も忙しい川内高校で、正直ここまでサッカーができるとは思っていませんでした。入部した時、顧問の先生が「年間百試合やりたい」と言われ、凄いな先生だと思っていたが一年終わると百試合以上出来ていた。二年過ぎた今年は少しずつ成果があらわれ県新人戦でベスト8、地区総体で久しぶりに優勝旗を持ち帰る事ができた。今までに味わったことのない感動だった。

部活動を通して多くの事を学び、日に日に遅くなっていく子どもたち。私たちは、その姿、プレイを見るのがとても楽しみな。わが子はもう少しサッカーを続けると言う。勉強との両立は大変だと思うが、両方ともできる事に感謝し、引退した三年生の分まで選手権で結果を残せるように頑張つてほしい。

保護者の広場

学級懇親会・PTA懇親会

一学年

12 H 保護者

親子共に不安や期待いっぱい
で迎えた入学式からちょうど二
か月経った六月九日、学級懇親
会を開催しました。

皆さん揃ったところでまずは
乾杯!! PTA総会等で顔は会
わせているものの初対面同然!
盛り上がるのかいささか不安
もありました。しかし、その心
配をよそに、途中「先生からお
話を……」と、声をかけるの
も申し訳ない程、話が弾んでお
りました。

担任の小島先生より「このク



一学年

26 H 保護者

梅雨に入り、紫陽花が色鮮や
かな季節となりました。
一学期がスタートして子供達

ラスの子どもたちは、とても素
直です。クラスもよい雰囲気で
す。」と学校での様子を話して
下さいました。その後、保護者
の方から一言ずついただきまし
た。家庭での様子・学校での様
子を聞き、我が子だけが……と
気にしていたことが皆同じと分
かり、妙に安心したのは私だけ
でしょうか。小中学校と違い、
高校となるといろいろな地域の
子どもたちと一緒にになり、戸惑
うことが多々あるでしょう。親
もまた同じように不安がありま
す。そのような中で、このよう
な会を開き、いろいろな話を聞
くことで、エーッと思ったり、
ホッとしたりとその不安も消え
ていくような気がします。短い
時間ではありましたが、楽しい
ひとときを過ごすことができました。
子どもたちも早く川高生
活に慣れることを祈ります。
今回、日程が合わず参加できな
かった瀬筒先生も含めて、次回懇
親会を開く頃には、また違う成長
をした子どもたちの様子が聞け
ることを期待しています。次回も
多数の参加をお待ちしています。



(写真：地区PTA)

はクラス替えもあり、勉強も難
しくなり、生活面・学習面に少
なからず不安を抱えながらも高
校生活を送っているのではない
でしょうか。

先日、雨の降る中、26 H の懇
親会を行いました。

担任の鳩宿先生をはじめ、藤
崎教頭先生も参加されました。

最初は少し緊張しましたが、初
めてお会いする方とも直ぐ打ち
解け、お料理をいただきながら
各家庭での様子、部活動と勉強
の両立、一年後にせまる受験の
事など色々情報交換が出来ま
した。

先生方からも日頃の子供達の
状況を聞き、この二ヶ月は何事
にも一生懸命に向かい合って取
り組む姿を窺い知ることができ

ました。

川内高校は伝統ある校風のも
と、部活動においての活躍はも
ちろんのことですが、子供達が
根気強く毎日の勉強に励み、
絶えず努力する姿に改めて感心
させられます。この高校生活を
有意義に過ごしてもらえる様に
保護者としても、サポートし見
守っていきたいと思います。

次回この様な機会がありまし
たら、もつと多くの保護者の方
とも語り合えたらと思いました。

二学年

33 H 保護者

去る六月十六日、大雨の文化
祭当日の夜、三学年PTA懇親
会が開催されました。今まで、
各学級の懇親会はありません
が、今回、初めて学年全体での
PTA懇親会の開催となり、
八十名余りという多数の参加を
いただきました。

会では、各学級担任の先生方
がそれぞれ熱い思いを語り、ま
た、当日の文化祭の話題でも盛
り上がりしました。「まずは、保
護者が楽しみましょう!!」とい
う声かけのもと席替えタイムも
二回あり、いろいろな保護者の
方々とも話ができて、楽しく交流
することができました。

校長先生、教頭先生方にも参加
して頂き、担任の先生はもちろ



ん、それ以外のいろいろな先生方
とも話をする機会ができ、とても
有意義な時間を過ごせました。
「わが校の生徒は、限られた時
間の中で一生懸命頑張る子ども
たちです。」という先生の言
葉を聞き、これからの本格化し
ていく受験生生活の日々を、先
生方と保護者が一丸となつて支
援する体制づくりができればい
いと強く感じました。

「受験は団体戦」子どもたち同
士励まし合い、共に頑張ってい
き、親も一緒に頑張る」という
姿勢を示していきたいと思いま
す。

お忙しい中、懇親会の準備な
どしていただいた先生方、本当
にありがとうございました。



～今年の思いをこめて～



山本さんのショパンでオープニング



グッド スマイル♡



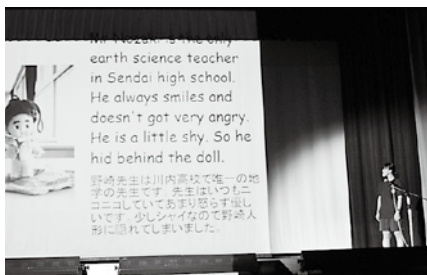
かわいい？アタシたち…



12H の力作！モザイクアート



書に熱い想いを！



心から心へ英会話同好会が伝えます

第65回 川内高校文化祭

『響』

～心ゆさぶれ～

文化部



ノッてるかーい！イエーイ♪



Let's Dancing !

6月16日、第65回文化祭が「響」をテーマに開催されました。当日はあいにくの悪天候でしたが、1,000人を超える大勢の方が来校して下さいました。

今年も土曜日開催となり、小学生や中学生、また他校の生徒の姿も見られ、あちこちで友人との久しぶりの再会を喜ぶ場面を見かけ、ほほえましく思いました。

舞台、展示部門それぞれ工夫をこらしてあり、短い準備期間の中でこれだけのものを作り上げるこの出来る川高生のパワーに感心させられました。

今年のテーマ「響」のようにみんなの心に「何か」をひびかせてくれた1日でした。



響け♪川高サウンド



育て！化学の芽



3年生、最後の舞台!!



蛭狩りをテーマにおもてなし



おいしいパンいかがですか～♪



おもしろかった？



アイス大好き♡たにがわ王国

部活動の活動状況

(平成二十四年度四月～七月)

九州大会

★体育系

〈男子バスケットボール部〉

全九州高等学校

バスケットボール競技大会

1 回戦



〈陸上部〉

秩父宮賜杯第 65 回全国高等学校陸上競技対校

選手権大会 南九州地区予選大会

男子 800 m

福重泰輝

予選

女子 400 m

風無あかり

予選

女子 400 m

早崎晴香

予選

女子 4 × 400 m リレー

5 位 ↓ 全国高校総体出場

(山田佳奈・風無あかり・東條未来・早崎晴香)

〈漕艇部〉

全九州高等学校体育大会ボート競技大会

男子クオドルプル

準決勝

(川崎翔平・北島裕・山崎友聖・吉永大晃・崎山浩考)

女子クオドルプル

準決勝

(前田早央理・田畑結衣・中村海旺・平松理沙・留盛空)

女子ダブルスカル

準決勝

(池脇志歩・栢里梨加)

県大会

★体育系

全国高校総体鹿児島県予選

〈バスケットボール部〉

男子 優勝 ↓ 全国高校総体出場

〈陸上部〉

男子 800 m

4 位 ↓ 南九州大会出場

福重泰輝



男子 4 × 400 m リレー 8 位

(池ノ上功・新門徹也・米増翔平・福重泰輝)

女子 400 m

3 位 ↓ 南九州大会出場

女子 400 m

風無あかり

女子 400 m

4 位 ↓ 南九州大会出場

女子 4 × 100 m リレー

7 位 早崎晴香

(福山若葉・若林あさ美・藤崎未歩子・風無あかり)

女子 4 × 400 m リレー

3 位 ↓ 南九州大会出場

(山田佳奈・風無あかり・東條未来・早崎晴香)

〈漕艇部〉

男子クオドルプル

2 位 ↓ 九州大会出場

(北島裕・山崎友聖・吉永大晃・崎山浩考・川崎翔平)

男子ダブルスカル

3 位

男子シングルスカル

(小林晃貴・植木園拓弥)

女子クオドルプル

2 位 ↓ 九州大会出場

(田畑結衣・中村海旺・平松理沙・留盛空・前田早央理)

女子ダブルスカル

優勝 ↓ 全国高校総体出場

(池脇志歩・栢里梨加)

〈水泳部〉

男子 50 m 自由形

1 位 (県高校新)

男子 100 m 自由形

湯之原孝実

男子 100 m バタフライ

5 位 湯之原孝実

男子 200 m 個人メドレー

8 位 有村将

男子 400 m 個人メドレー

5 位 川瀬峻

男子 400 m リレー

4 位 川瀬峻

(有村将・湯之原孝実・宮脇幸弘・小村真矢)

男子 400 m メドレーリレー 5 位

(東亜蘭・池之野優誠・有村将・湯之原孝実)

男子 800 m リレー

7 位

(有村将・湯之原孝実・日高晴海・川瀬峻)

女子 50 m 自由形

4 位 北園恵理

女子 100 m バタフライ

8 位 今吉優公

女子 200 m 平泳ぎ

6 位 中尾美実

女子 200 m 平泳ぎ

8 位 坂口美里

女子 400 m リレー

7 位

(今村杏・北園恵理・坂口美里・四枝琴乃)

女子 400 m メドレーリレー 6 位

(北園恵理・中尾美実・今吉優公・今村杏)

〈剣道部〉

男子団体

ベスト 8

女子個人

優勝 ↓ 全国高校総体出場

久保美琴

〈野球部〉

NHK 旗争奪県選抜高校野球大会

ベスト 8

〈バスケットボール部〉

南九州 4 県対抗バスケットボール選手権大会県予選

男子 3 位

〈陸上部〉

鹿児島県陸上競技記録会

男子 800 m

2 位

女子 4 × 400 m リレー

2 位

(東條未来・風無あかり・若林あさ美・早崎晴香)

第 67 回鹿児島県陸上競技選手権大会

女子 400 m

3 位 ↓ 九州選手権大会出場

女子 400 m

風無あかり

女子 400 m

4 位 ↓ 九州選手権大会出場

女子 4 × 400 m リレー

2 位 ↓ 九州選手権大会出場

(山田佳奈・風無あかり・東條未来・早崎晴香)

★文化系

〈放送部〉

第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト

鹿児島県予選大会

創作テレビドラマ部門

優良賞

〈美術部〉

高等学校美術・工芸、書道、写真展

優秀賞

福永優莉佳

3 学年応援

5 月 29 日 バスケットボール県予選 決勝

